



竹の子川柳会

ときようそうぬかれっぱなしがんばるぞ
小学校一年生

鳴き声がかわいいねこにメロメロだ
小学校四年生

ハロウインはいたずらよりもおかしかな
小学校四年生

運動会みんなも風も走ってる
小学校四年生

さんば中犬が走ったにげるぼく
小学校五年生

ハロウインはおばけ出てくるどこからか
小学校五年生

注射するちくりと二本痛すぎる
小学校六年生

全力で走る姿に勇気出た
小学校一年生

その言葉心にちくり残ってる
小学校一年生

好き嫌い激しい自分うんざりだ
高校一年生

好きになる片思いな僕青春だ
高校二年生

好きな事語れる人と出会いたい
高校二年生

好き嫌いよりも感謝を大切に
高校三年生

ひよし川柳会

コスモスの中を通路の一人旅
兵頭チヨカ

診療所老化も同期顔揃う
熊本 忠真

昨今は宇宙への旅夢でなく
水野すみこ

捜し物目の前にあり苦笑い
兵頭 好子

メモ書きまでも捜す日増えた年じやろか
菅原 由紀

メガネにも着信音を付けたいね
山本 節

時間かかると何を捜すのさえ忘れ
木村 貞子

猿一匹に振り回される捜査陣
宮川 柳酔

どん底を抜ける糸口捜してる
若宮 賢敬

献立は無用酒さえあればいい
大崎 五葉

献立は作る主役の味が出る
宇都宮 忍

大麻暦今も農家じゃ必需品
中城 英雄

献立して妻の有難みがわかる
川添 忠昭

よりよい史跡にするために

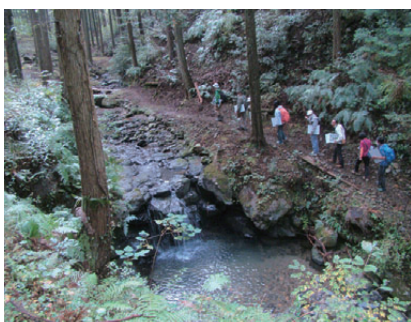
十一月三日（木・祝）に開催した史跡等妙寺サポーターの会第三回学習会では、サポーターの皆さんと史跡を歩き、史跡をもっと見学しやすくするにはどうすればよいか意見交換を行いました。

令和六年度の史跡公園オープンに向け、次年度には見学路の順路標示や解説看板の設置を予定しています。今回の学習会では特に、「順路標示や解説看板の設置予定箇所や内容は適切かどうか」、「危険箇所や歩きにくい箇所はないか」などの視点で往復約三キロ、二時間の見学コースをじっくり歩きました。サポーターの皆さんからは、階段があればいい箇所や休憩用のベンチが欲しい箇所、また植物の名称プレートや解説があればよいといった具体的なご意見もいただきました。最後に参加記念品として御史跡印の試作品をプレゼント。大変喜ばれました。

今後もこのような史跡見学会を開催し、史跡をもっとよりよくするにはどうしたらよいか、皆さんと考え実践していきたいと考えていますので、ぜひご参加ください。



▲史跡見学会のようす②



▲史跡見学会のようす①



きほくのまち人探訪

「左手1本でのサーブに、感謝の気持ちを込めて」



いしざき かいと
石崎 海士さん

きほく優愛の里から、愛媛県立宇和特別支援学校に通っている石崎海士さん。10月29～31日に栃木県で開催された、第22回全国障がい者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」の卓球競技に出場し、見事1位に輝きました。

中学生のころから、卓球に親しんできた石崎さん。愛媛県内の予選会では、新居浜・今治・松山などの強豪選手を抑えて、県勢トップの成績で全国大会に進みました。そんな石崎さんの持ち味はサーブ。右半身に障がいのある石崎さんですが、左手だけを使って上手にサーブを打つことができます。回転をかけたサーブは打ち返すことが難し

く、先輩プレーヤーを負かすこともあります。

きほく優愛の里の施設長を務める河添誠治さんは、「やる気で卓球に励んでくれていることがうれしい」「ライフワークとして、生涯楽しみながら続けてほしい」とうれしそうに話していました。

現在、高等部2年生の石崎さん。「3年生になる来年も、全国大会1位を目指して頑張りたい」と意気込み、将来はバラスポーツ選手として活躍することも夢見て、「これからは卓球に打ち込みたい」と笑顔で話していました。

ALTの鬼の里Diary ~Brian編~

「Culture shock in Japan!!」



日本に来て驚いたことは何ですか?と多くの人に聞かれます。実は、カルチャーショックはあまりなく、ちょっと面白いと思うことはあります。その一つは、ほとんどの場所に全館空調がないことです。つまり、建物の中が夏は本当に暑く、冬は寒いのです。夏にエアコンが効かなかったので、授業中に全身汗をかいた思い出があります。今、私は学校の廊下を歩き、子供たちが寒いと言っているのを見て、私の手も寒く、私はただ笑い始めます。時には廊下は外よりも寒いです!

アメリカでは、外がどんなに暑くても、建物の中は必ず涼しくて快適です。冬は外がどんなに寒くても、室内はいつも暖かく、

子供たちは2月に教室でTシャツを着ることが出来ます!

もう一つ面白いと思った事は、ある時に研究授業があり、そこに30人の先生たちが見に来てくれましたが、スペースが無くなってしまい、何人かの先生は立っていて、何人かは廊下の見えにくい場所に座っていました。もっと広い教室もありましたが、なぜか狭い教室でやりました。私は今までそのような事を見たことがなかったので、コントみたいだと思いました。

今から新しい面白い思い出ができたらいなと思います。皆さんいつも優しくしてくれてありがとうございます。今年もよろしくお祈りします!

地域おこし協力隊活動日記

「北宇和高校との商品開発」

地域おこし協力隊2年目
のぐち たかひろ
野口 貴博



コワーキングスペース warmth にて活動している野口です。夏ごろから北宇和高校の農産加工班の生徒と一緒に「きじカレーパン」のレシピ開発を行ってきました。高校生と試作・試食を重ね、11月の北宇和高校の文化祭で販売することが出来ました。

実際レシピのベースは私自身が提供しましたが、高校生たちが「〇〇を使ってみよう」とか「〇〇したら美味しくなるんじゃない?」など、意見を出し合いながら進めていき、最初に作ったものよりも完成度の高いパンに仕上げることが出来ました。今後も改良を重ねていき、いずれは事業者と連

携をして商品化まで出来れば面白いだろうなと思っています。



▲鬼の金棒をイメージしたきじカレーパン